

## 調査対象

| 調査対象事業者数 |       | 回答数   | 回答率   |
|----------|-------|-------|-------|
| 貸切バス事業者  |       | 1,055 | 52.3% |
| 内訳       | バス協会員 | 579   | 57.5% |
|          | 非会員   | 476   | 46.0% |

※保有車両の規模別、バス協会会員・非会員別に調査

## 調査手法

メール調査（平成29年9月11日～10月11日） ※バス協会員については、日本バス協会の協力の下に実施

## 調査項目

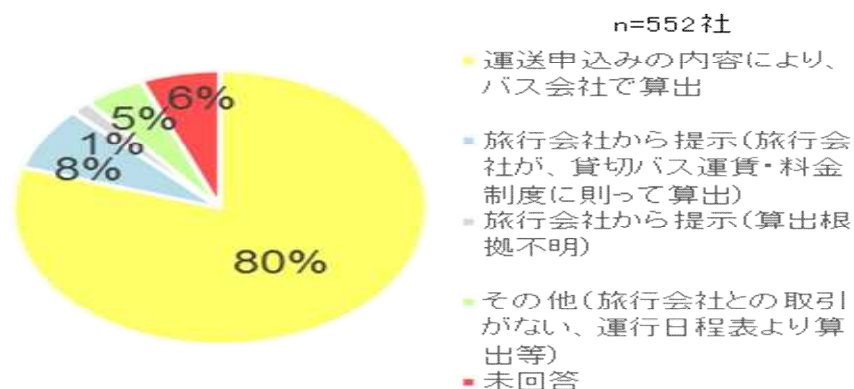
- 旅行者との契約に関する状況
- 運賃料金等の収受状況
- 運送引受書の交付関係
- あっせん手数料の支払状況
- 安全運行等に関する取組状況

# 貸切バス事業実態調査の結果①

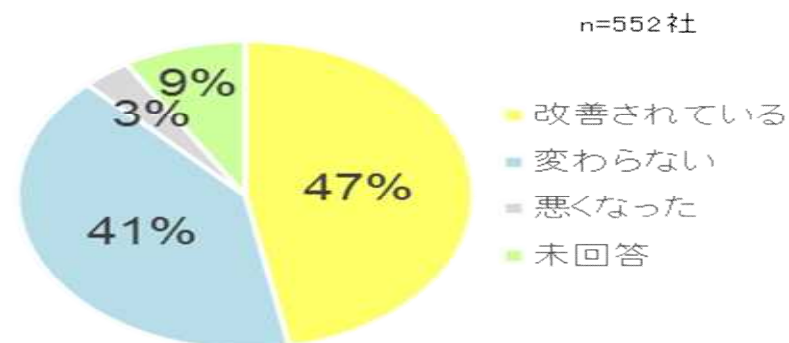
## 旅行業者との契約に関する状況

- 運賃・料金の算出は大多数(80%)がバス会社において行っている。
- 平成28年の運賃・料金の収受状況は平成27年と比べて、「改善されている」が最も多く(47%)、その理由は、「契約先が新運賃料金制度に協力的」が最も多く(77%)になっている。

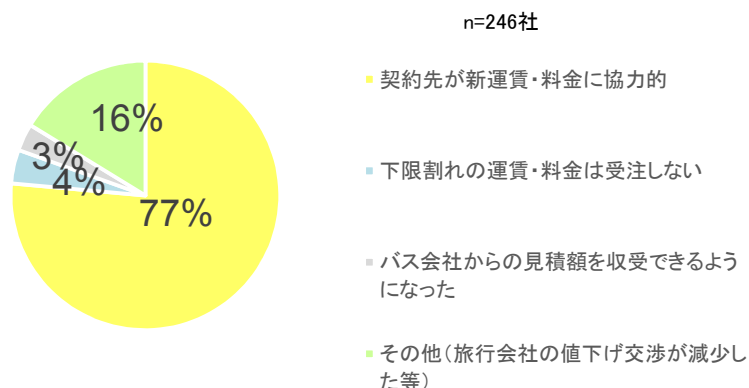
### Q 旅行会社との運賃・料金算出決定方法



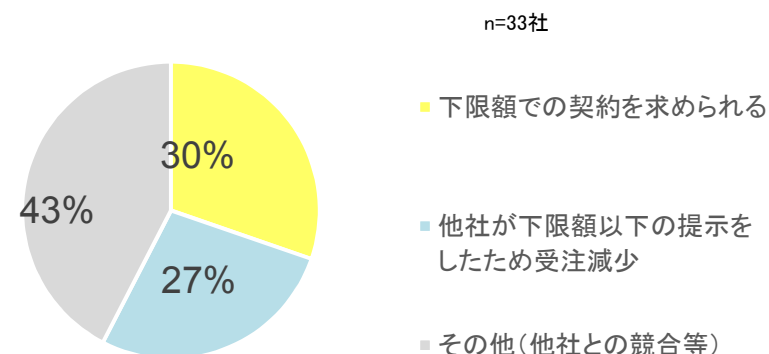
### Q 平成27年比、平成28年の運賃・料金の収受状況は改善しているか



### Q 改善されている理由



### Q 悪くなった理由

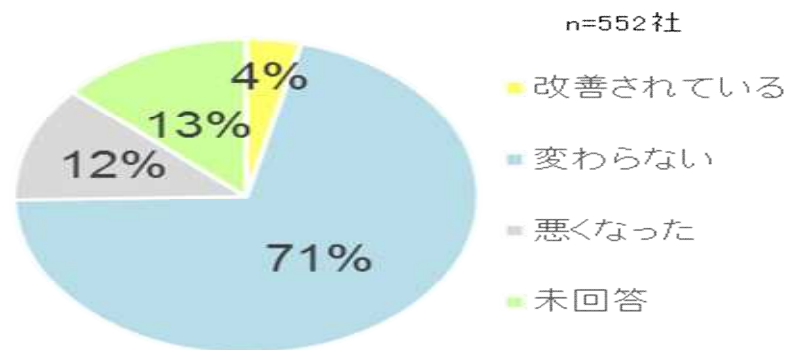


## 貸切バス事業実態調査の結果②

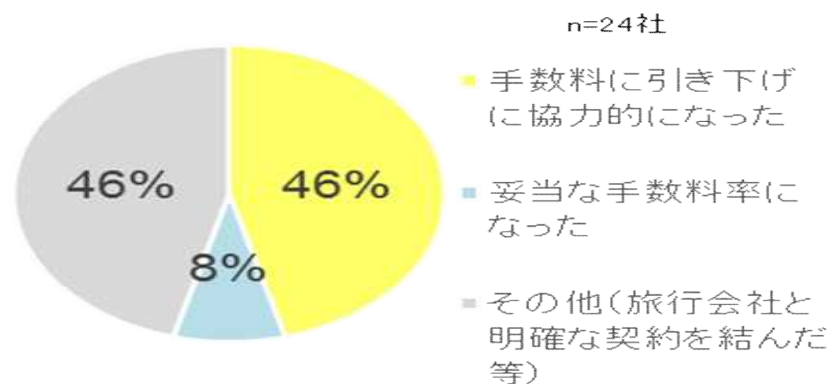
### 旅行業者との契約に関する状況

- 手数料は、前年比で71%が変わっていないが、一部(12%)が悪くなったとしており、手数料の引き上げ要請等を受けている。

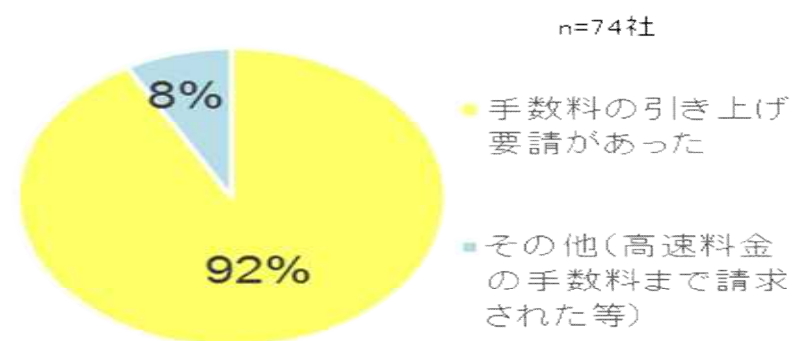
#### Q 平成27年比、平成28年の旅行会社との手数料は改善しているか



#### Q 改善されている理由



#### Q 悪くなった理由

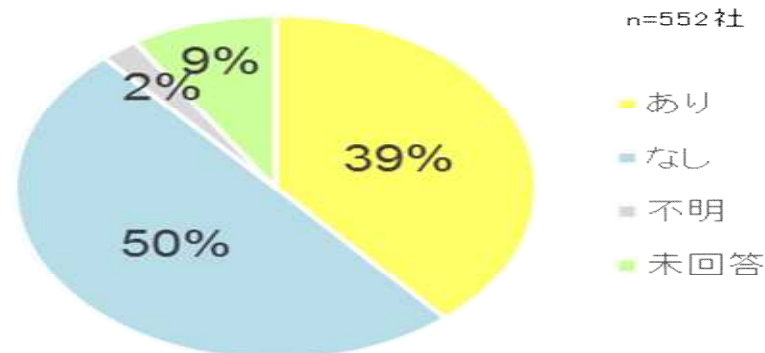


## 貸切バス事業実態調査の結果③

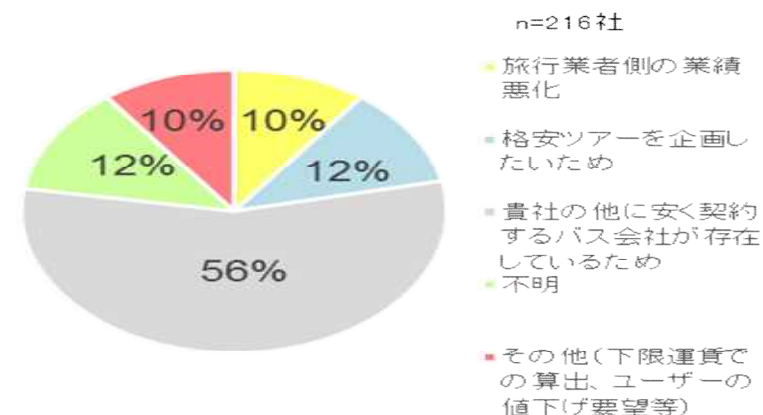
### 旅行業者との契約に関する状況

- 新運賃・料金制度実施後、旅行業者から運賃の引き下げ要請を受けた事業者は39%であり、要因としては「他のバス会社がより安い運賃を提示することが多い(56%)」となっている。
- 手数料の引き上げ要請を受けた事業者は39%であり、要因としては運賃と同様に「他のバス会社がより安い運賃を提示することが多い(33%)」となっている。

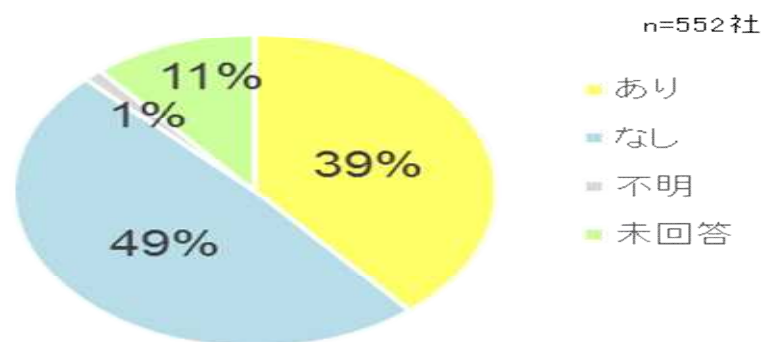
#### Q 新運賃制度実施後、旅行業者から運賃・料金の引き下げ要請を受けたか



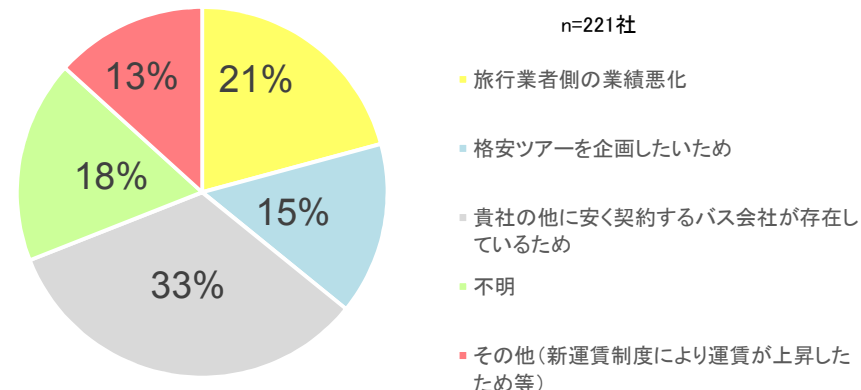
#### Q 旅行業者が運賃・料金の引き下げを要請した理由



#### Q 新運賃制度実施後、旅行業者からの手数料の引き上げ要請を受けたか



#### Q 旅行業者が手数料の引き上げを要請した理由

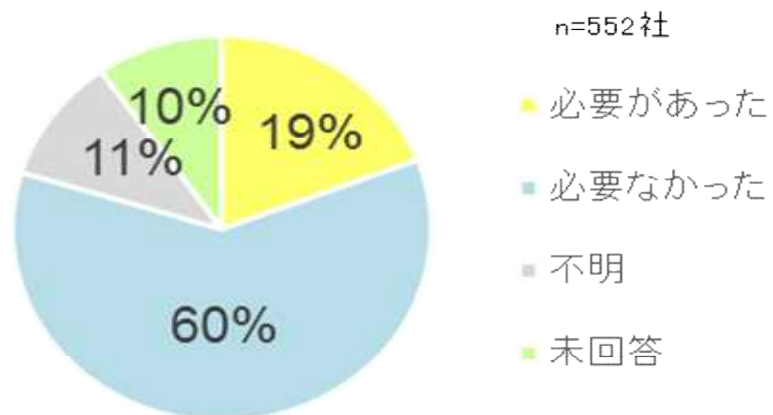


## 貸切バス事業実態調査の結果④

### 旅行業者との契約に関する状況

- 費用の上昇分を運賃に転嫁する必要があった事業者は19%あり、そのうち48%の事業者は上昇分を運賃等で収受できているが、19%の事業者は上昇分を運賃等で収受できていない。

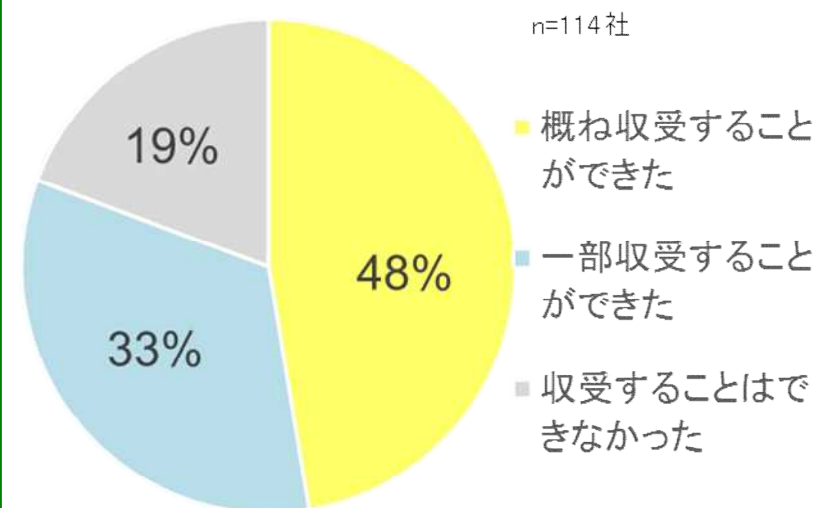
Q 平成28年4月以降、費用の上昇分について、  
運賃等を収受する必要があったか



<主な上昇した費用>

- ・人件費
  - ・車両などの設備費
  - ・燃料費
- 等

Q 必要があった場合、昨年4月以降費用の上昇分を  
運賃等で収受できたか

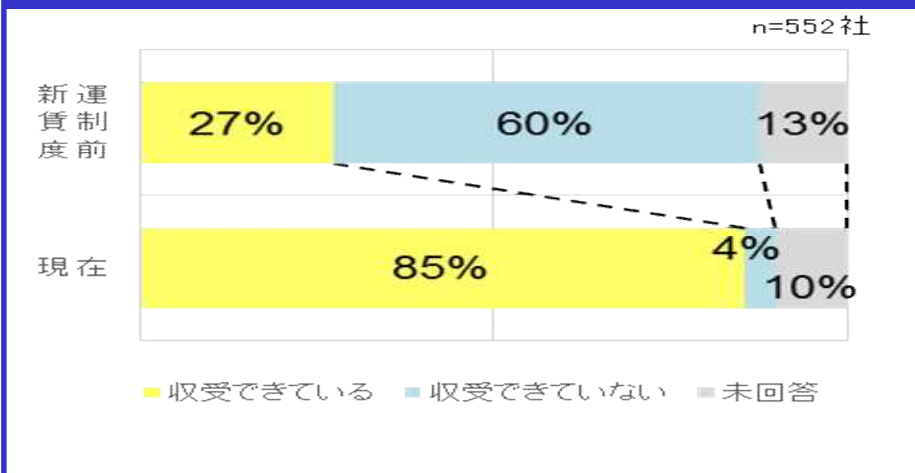


## 貸切バス事業実態調査の結果⑤

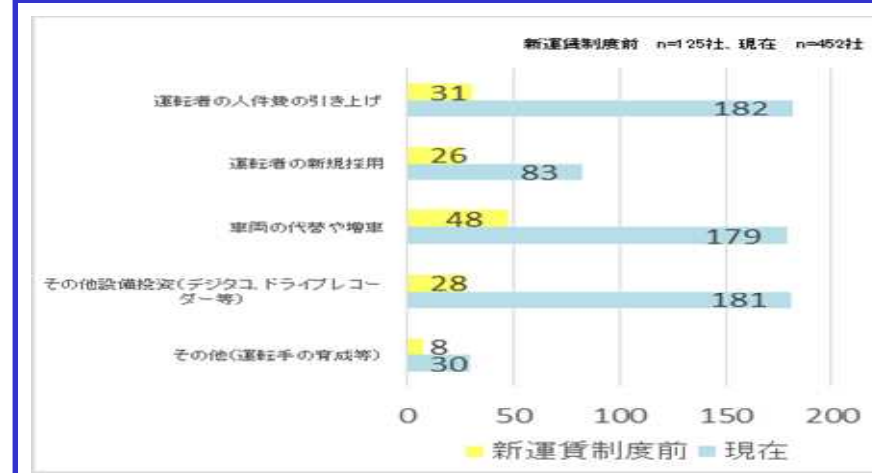
### 運賃・料金の収受状況

- 新運賃・料金制度実施後、届出の範囲内で「収受できている」と回答した事業者は、27%から85%に増加。一方、いまだ4%が「収受できていない」と回答している。
- 新運賃制度前に比べ、現在は収受した運賃を、ドライブレコーダー等の設備投資(646%増)や人件費の引上げ(587%増)等に充てている事業者が、大幅に増加している。

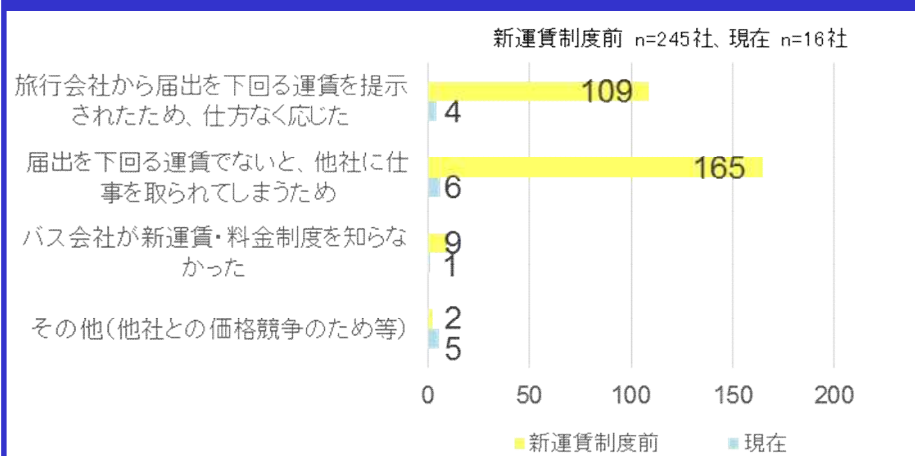
#### Q 運賃・料金は届出範囲内で収受しているか (新運賃制度前と現在の比較)



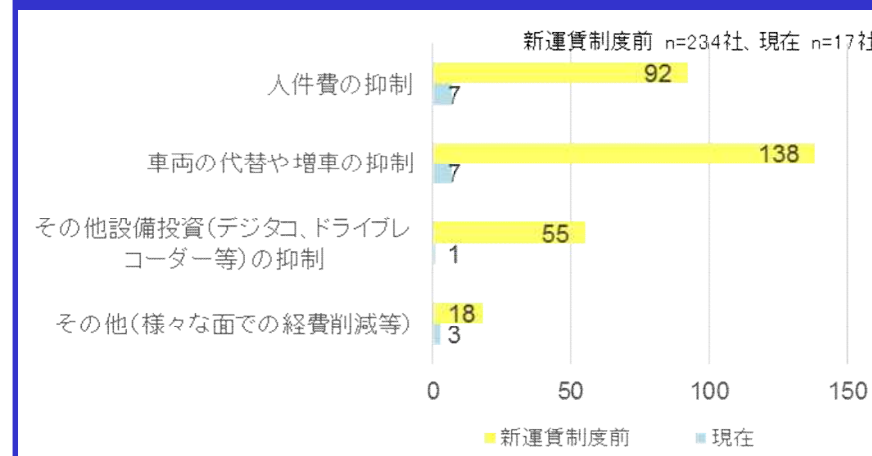
#### Q 収受できていると回答した場合、どのような経営課題に対応しているか (新運賃制度前と現在の比較)



#### Q 収受できていないと回答した場合、その要因 (新運賃制度前と現在の比較)



#### Q 収受できないと回答した場合、どのような対応をしたか (新運賃制度前と現在の比較)

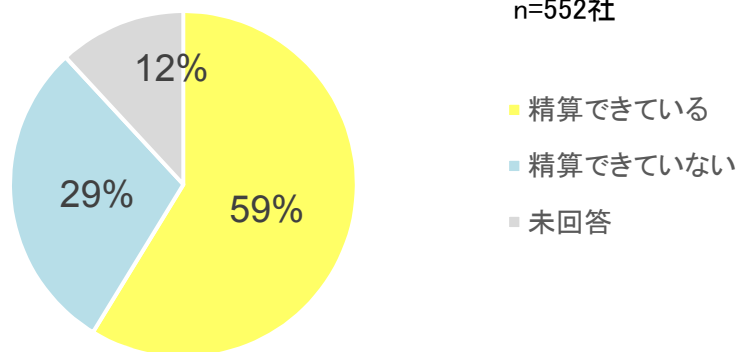


## 貸切バス事業実態調査の結果⑥

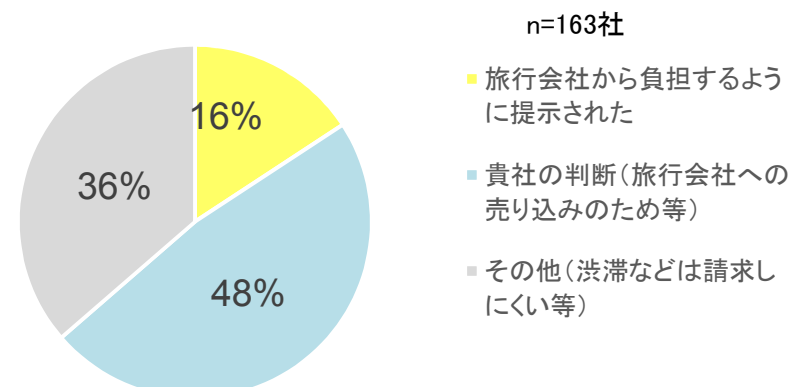
### 運賃・料金の収受状況

- 運行行程の変更等により運賃・料金に変更が生じた場合に「精算できていない」事業者は29%あり、要因としては「自社の判断で請求していない」ことが多い(48%)。
- 有料道路利用料等の実費の精算については、大多数(86%)の事業者は精算できている。

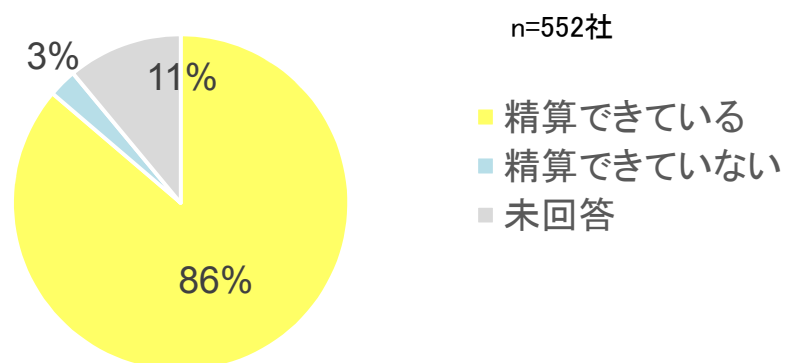
#### Q 運行行程の変更等により運賃・料金に変更が生じた場合、精算できているか



#### Q 精算できていないと回答した場合、その理由



#### Q 有料道路利用料やガイド料などの実費は、運賃・料金とは別に精算できているか



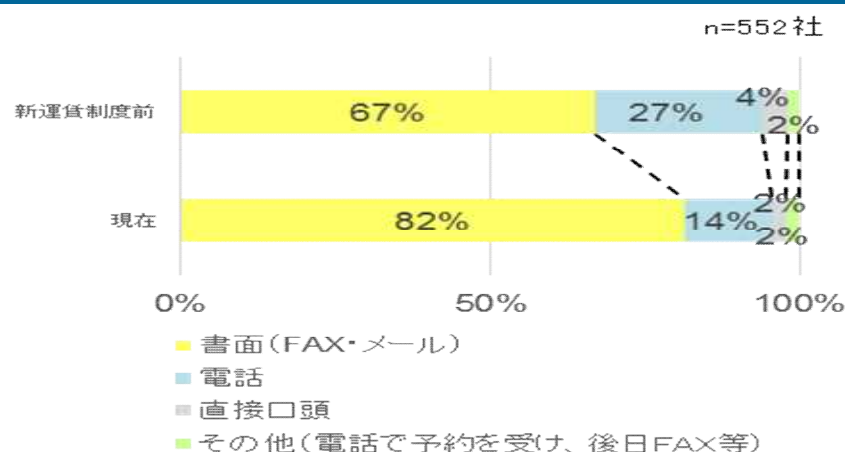


# 貸切バス事業実態調査の結果⑦

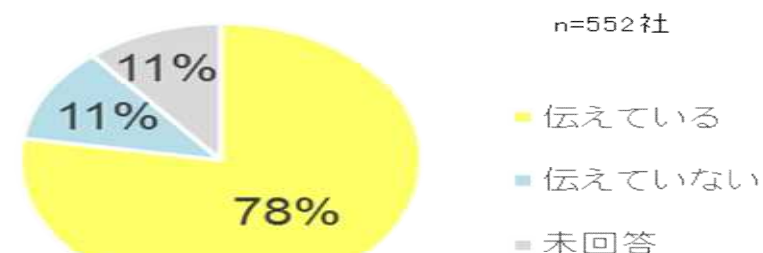
## 運送引受書の交付関係

- 新運賃制度後、旅行業者からの運送申し込み方法は、「書面」が67%から82%に増加している。

### Q 旅行業者からの運送申込みの方法



### Q 運賃・料金・実費の根拠(計算式等)を旅行業者に伝えているか



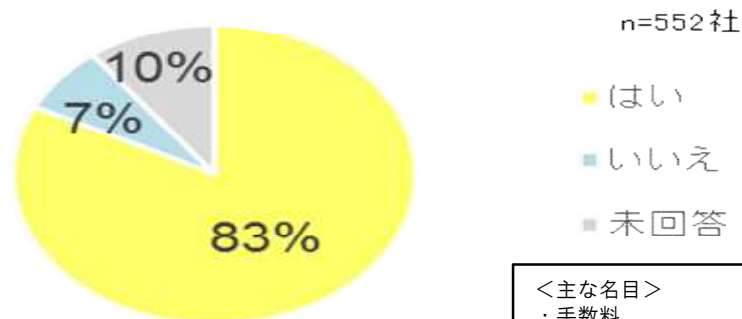
#### <伝えていない理由>

- ・新運賃制度は周知されているから。
- ・聞かれていないから。
- ・詳細を伝えると値引き交渉をされるから。等

## あっせん手数料の支払状況

- 旅行業者に対して支払う手数料等は多くの場合(83%)支払われており、大多数(92%)が10%以上~20%以下となっている。

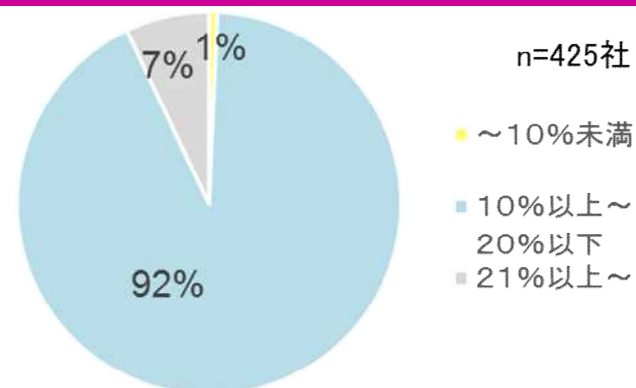
### Q 旅行業者に対して、手数料等を支払っているか 支払っている場合の名目は何か



#### <主な名目>

- ・手数料
- ・斡旋手数料
- ・支払手数料 等

### Q 旅行業者に対して、手数料等を支払っている場合の手数料率



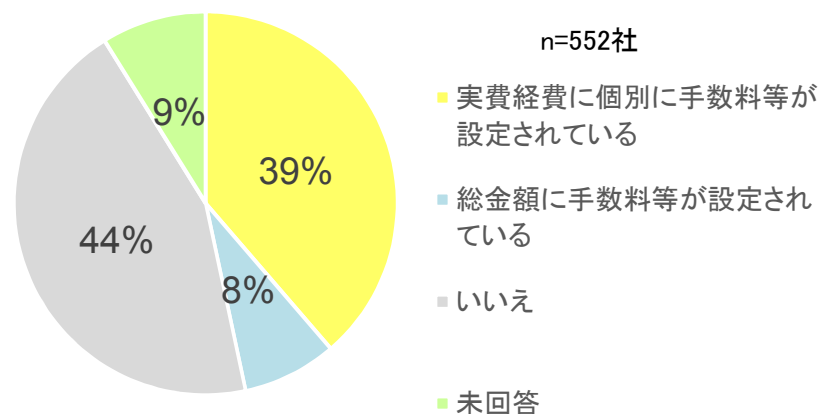


## 貸切バス事業実態調査の結果⑧

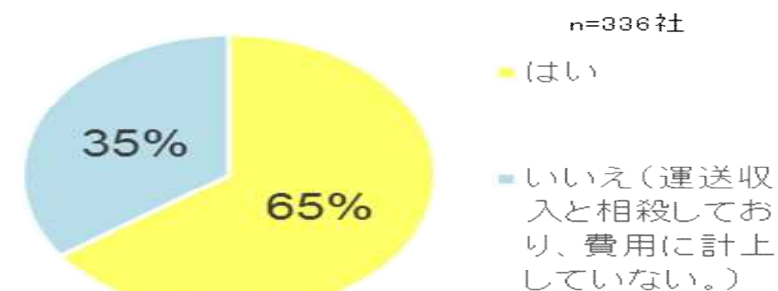
### あっせん手数料の支払状況

- 実費経費の精算分に手数料が設定されている事業者は、47%となっている。
- 旅行業者と手数料等に関する取引書面は、多くの事業者(83%)が取り交わしているが、一部(17%)取り交わしていない。

#### Q 実費経費の精算分について、 旅行業者から手数料を設定されているか

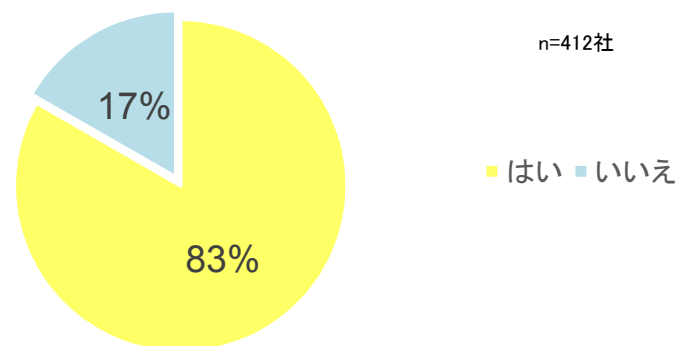


#### Q 実費に手数料が設定されている場合、費用を計上しているか 計上している場合の費用名は何か



<主な費用名>  
 ・手数料  
 ・運送費  
 ・支払手数料 等

#### Q 旅行業者に対して、手数料などを支払っている場合、 手数料などを支払うことについて旅行業者と書面を取り交わしているか

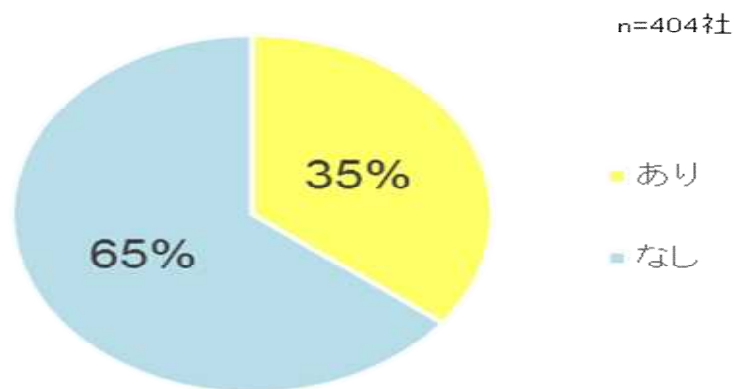


## 貸切バス事業実態調査の結果⑨

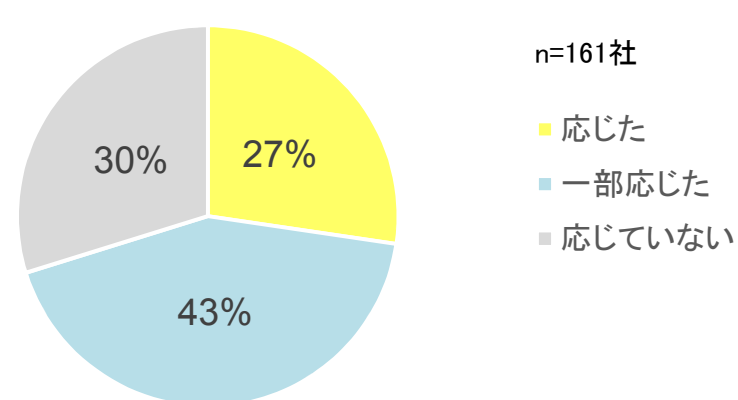
### あっせん手数料の支払状況

- 平成28年度以降に旅行業者から手数料の引き上げ要請を受けた事業者は、35%となっており、このうち27%が引上げに応じ、43%が一部応じている。
- 1事業年度の運賃・料金収入に占める手数料の割合は、76%が15%未満となっている。

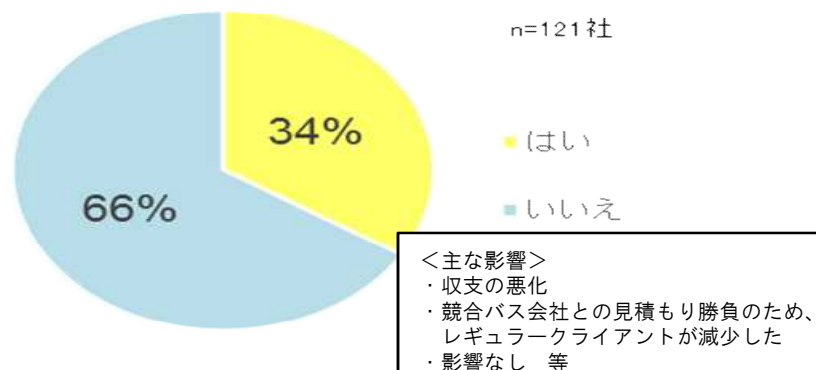
Q 旅行業者に対して、手数料等を支払っている場合、平成28年度以降に手数料の引き上げ要請があったか



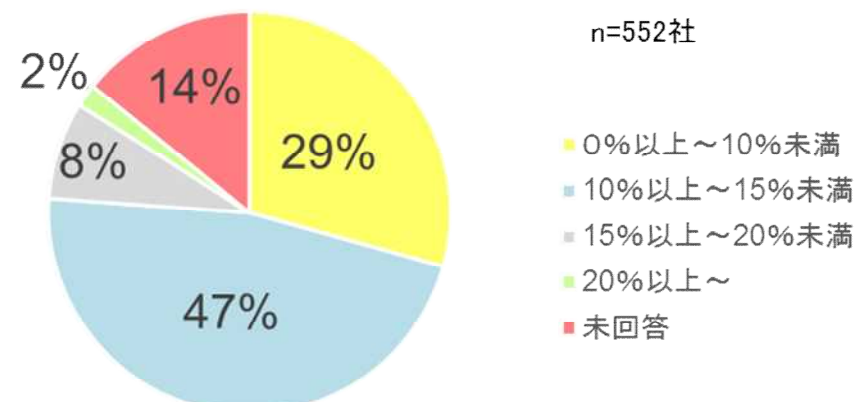
Q 手数料の引き上げ要請があった場合、その引き上げ要請に応じたか



Q 引上げ要請に応じた又は一部応じた場合、引き上げたことにより、事業に営業があるか



Q 直近1事業年度の運賃・料金収入に占める手数料の割合

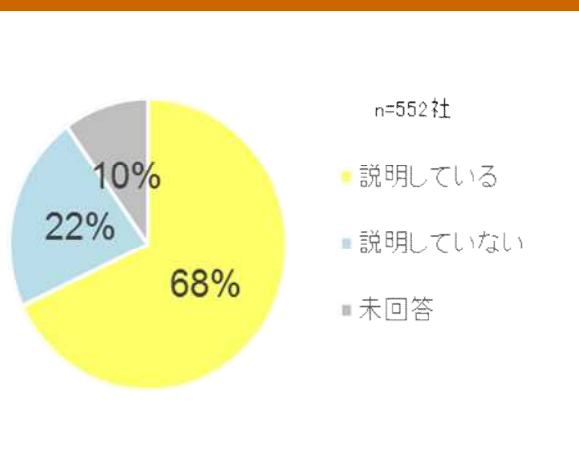


## 貸切バス事業実態調査の結果⑩

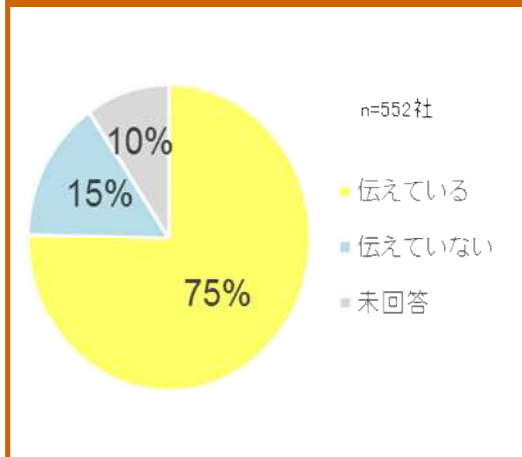
### 安全運行等に関する取組状況

- 旅行者に対して、運賃・料金に安全コストが反映されていることを説明している事業者は68%となっている。
- 旅行者に対して、安全運行等の取組を説明している事業者は75%となっており、安全性評価認定の取得状況や車両の情報を説明している。
- 一方で、伝えている取組が旅行者から利用者に伝わっている割合は36%となっている。
- また、旅行者との連携による取組としては、運送行程を必ず旅行会社と相談して決定などが挙げられている。

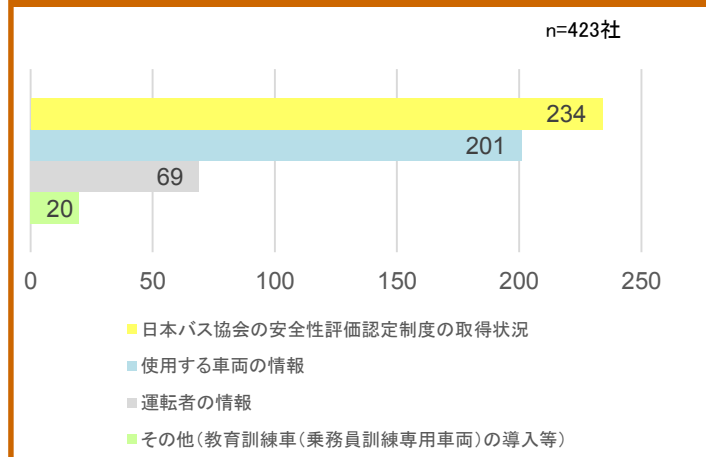
#### Q 旅行者に対して、運賃・料金に安全コストが反映されていることを説明しているか



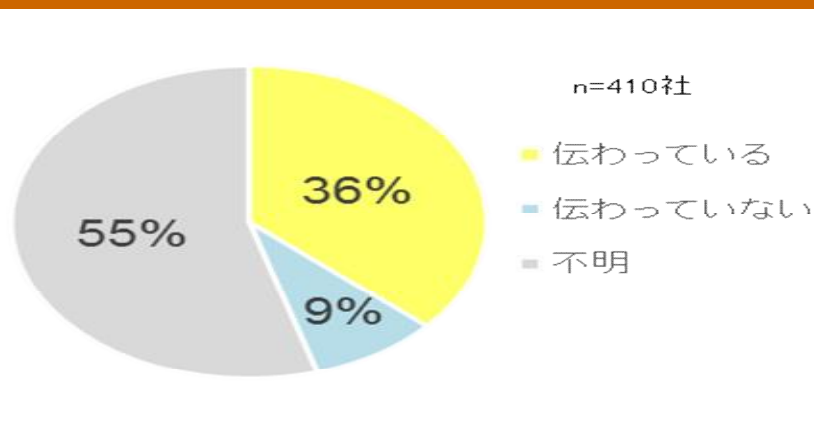
#### Q 安全運行等の取組について旅行者に伝えているか



#### Q 伝えている場合、その内容



#### Q 伝えている取組は、旅行者から利用者に伝わっているか



#### Q 旅行者との連携による安全運行への取組

